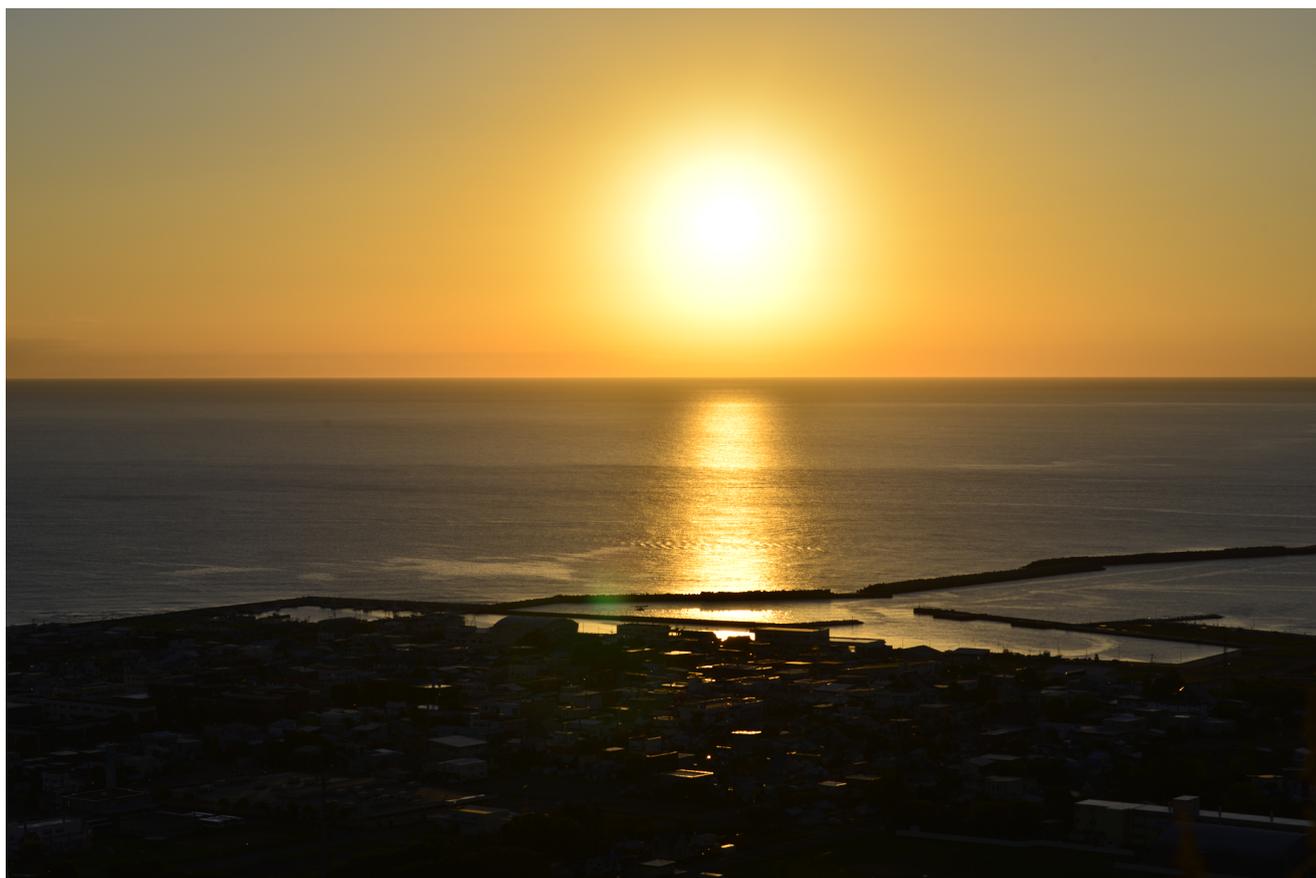


社会福祉法人 友愛十字会

ゆうあい

題字 初代総裁三笠宮崇仁親王殿下

2019
1・1
No.48



『オホーツクの夜明け』

主な記事

- 2019年という年を迎えて 総裁 瑤子女王殿下
- 新任のご挨拶 友愛ホーム園長 酒井 健治
- 介護ロボットと共に生きる 砧ホーム園長 鈴木 健太
- プロポーザルを終えて 砧あんしんすこやかセンターセンター長 山本 恵理
- 経験に勝るものなし 教育委員会 広島 正和
- 仕事と家庭の両立のために 男女共同参画委員会
- 施設紹介 法人本部事務局 友愛書房
港区立障害保健福祉センター 工房アミ
- 善意のかずかず
- 職員異動

『2019年という

年を迎えて』

社会福祉法人友愛十字会

総 裁 瑠子女王殿下



友愛十字会総裁を務めさせて頂いております。寛仁親王の次女の瑠子でございます。

今回も私の苦手な執筆依頼が来てしまいました。こういうものは、苦手だと文字にもしているのに、どうも分かって頂けないようです。ですが、依頼を頂いた以上は、この少ない脳みその中で、頑張っ書いていこうと思っっています。

この文章は、実際は2018年の11月下旬に依頼を受けて書いてるので、2018年を終えてい

るわけではありませんが、私にとって2018年というのは、よく言えば密度の濃い、違った言い方をすると、日々心が重いという気持ちを抱えながら過ごしていた時でした。父が亡くなって丸6年が経ちましたが、父がしてきた仕事や活動は、絶えることなく全てが続いており、これは自分が言うことではありませんが、父の精神や考え方を娘である私が、父と一緒に歩んできた皆さんたちから見て、ちゃんと受け継いでいると判断して頂けているからなのかな？と思っっています。勿論、完全体の父になれるわけはありませんが、根本の部分が違えば、必ず首を傾げる方々・殿下だったら、こうするのにとっ思う方々などがいらして、活動に参加なさらなくなる・協力して下さらなくなるとっいう事態が起き、継続出来ないという状態になっってしまうはずのところ、今も継続出来ているのは、父とともに活動されてきた方々の熱意が消えていないことが一番ですが、その中に私という存在を受け入れて下さったからだと思っっています。

す。本当に感謝の気持ちしかありません。ありがとっございます。これからも、私に出来ることはやっていきますし、やってほしい！ということがあるれば何でもおっしやっして下さい。そして、書くべきか少し迷ったことではありますが、自分にとっては、重要な事柄ですし、皆さんに自分の想いを伝えたいと思っただので書いていきたいと思っます。この文章を読まれている方々は今年となるわけですが、私は陛下の御退位というのが決まっってしまったからとっいうもの、世の中が【平成最後】とっいう言葉を使い始め、それを耳にするたび・眼にするたびに、自分の心は強く締め付けられ暗い世界へ入っていきました。そして、宮中行事などで陛下下にお会いする機会があると、自然と涙が溢れたり・こぼれるようになりまっした。今まで、父から受け継いできた仕事や活動・自分に行なっっている活動・何より皇族として現在の両陛下に随従するとっいうことを、ずっとしてきてい

わけですが、それが2019年4月30日で終わっってしまうことを、未だに私は受け止めること・整理をつけることが出来ていません。この言葉に対して、皆さんがどう思われるのかは様々だと思っますが、私にとって、何も考えずに今まで通り前に進む！とっいうことは、どうしても出来ないことなです。例えば、会社において、社長が代わった・会長が代わったなどということも違い、若い世代の人たちが頑張っっていく時代とっいうのも、ちよっつと違っうのです。今の私が持つている語彙力では、皆さんに分かりやすく・もつと的確な表現の仕方が出来ないのが大変申し訳ないのですが、確実に言えることは、それだけ今の両陛下は、私にとって途轍もなく大きすぎる存在とっいうことです。

私は、この二つの想いを常に持ち続けながら、今まで以上に悔いのない行動・言動をするように心掛けています。皆さんも、どうぞ悔いのない日々を過っして下さ

新任のご挨拶

社会福祉法人友愛十字会

友愛ホーム

園長 酒井 健治



昨年4月に友愛ホーム園長に就任いたしました酒井です。前任の金井園長同様、どうぞよろしくお願いたします。

さて、当園は環境上の理由及び経済的理由により居宅で生活することが困難な方が自治体の措置により入所する養護老人ホームです。利用している方は、約8割が大正から昭和10年代の生まれで、約6割が介護認定を受けています。自立した生活をしている方もいますが、認知症や精神不安定などにより見守り等の支援を必要と

する方や、身体機能の低下等により介護や医療の必要な方も多くいます。そのような方々の意向を聞き、職員と協力して支援をしてまいります。と思っています。

もう一つの職務として、本部署の総務部長を併任させていただいております。理事会では、規程改正に関し説明を行っており毎回緊張しております。

また、有効求人倍率が上がるほど確保が難しくなると言われている福祉や介護人材の採用にむけ、面接なども行っています。これまで聞いてはおりましたが、その現実と厳しさを実感しているところではあります。

政府や各自治体においても福祉・介護人材の確保に向け様々な施策が講じられているところでありますが、昨年4月の財政諮問会議の資料においては、2025年以降の15年間で就業者数は70万人減少す

ることが見込まれ、この間の医療・福祉に必要な人材は推計で130万人の増加となり、就業者全体の約2割を占めることが試算されておりました。まだ先のことのようにありますが、人口が減少する社会においてゆくゆくは外国人人材の活用も考えていかなければならないと思います。

当法人では、今年度から組織的に人材の確保に向けて取り組みを始めるということで、総務部にリクルート推進室を設けました。組織を整備したから人が集まるものでもありませんが、これまでの施設ごとの取り組みを法人全体としても進めていくということで設置されました。現在、各施設から選出された委員等において学校訪問や説明会の開催等に向け資料等の準備をすすめているところです。また、職員の皆さんの協力も得て人材を確保していこうということ

で、職員採用協力手当を新設することとしました。

これらの取り組みにより、各施設をはじめ、今後大量に採用を控える港センターや友愛荘の職員が少しでも確保できればと思います。

さらに、人材の育成という面では、階層別の研修を今年度から実施しているところです。職員の皆さんがそれぞれの段階に応じて能力を高めていただき、サービスの向上や資質の向上につなげていただければと思います。

昨年、創立68年を迎えた歴史ある法人の施設長や部長の職を務めさせていただくこととなり、これまでの取り組みも踏まえ一生懸命なので、皆様方のご指導、ご支援をお願い申し上げます。ぜひご挨拶とさせていただきます。

介護ロボットと共に生きる

砧ホーム

園長 鈴木 健太

砧ホームは、東京都ロボット介護機器・福祉用具活用支援モデル事業における都内の特養で唯一のモデル施設として、平成29年4月から12月にかけて「介護ロボットの適切な使用方法や効果的な導入方法」についての検証活動を行いました。本誌第45号（2017年7月31日発行）にて検証活動のキックオフまでを報告していましたが、当第48号ではその後の介護ロボットの活用とモデル施設としての活動について報告したいと思います。

苦労した検証活動

モデル事業の目的が機器の有効性を測ることではなく、有効性を導くための使用方法や導入の在り方を検証することにあるため、運

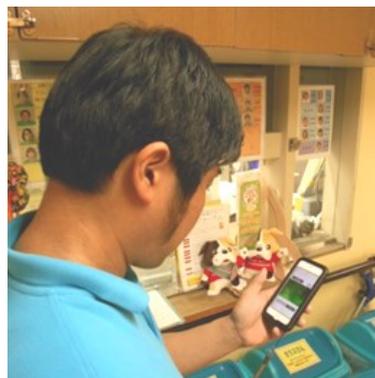
用中のマネジメントや活動後の報告には大変苦労いたしました。この原稿を書きながら東京都福祉保健局高齢社会対策部が発行した当モデル事業の報告書を手元に事業を回想しておりますと、締め切りを追われて徹夜した日々が当時の疲労感を伴って蘇って参ります。最後まで事業を全うできましたこ

と、ご協力を賜りました皆様に、改めまして心より感謝を申し上げます。なお、報告書は、東京都福祉保健局のHPより閲覧可能です。ご一覽いただけますと幸いです。

その後の介護ロボットの活用

モデル事業で導入したロボットのうち、見守り支援ロボットは設

ロボットの有難味を強く感じた出来事でした。



画像による見守り

プロジェクトクローズの様子

備の一部と化して静かに日々の生活支援に溶け込んでいます。最早、空気の様な存在です。ある時、漏水によりサーバーがダウンして3週間ほど機器が使えなかったことがあったのですが、それはもう不便で仕方ありませんでした。二度と体験したくないトラブルでしたが、すっかり介護ロボットが施設に浸透していることと、介護

一方、装着型移乗介助ロボットのマッスルスーツ®は、介助者の腰の負担を軽減する働きがあり、腰への不安がある職員にとってはお守りの様な存在として使用されています。当初は排泄介助の場面に限定して適用の見極めを行っていましたが、現在は入浴介助を初め様々なシーンで活用が進んでいます。特に、施設の外にも持ち出せることから、介護の魅力の発信にも活躍しています。



また、新たにアザラシ型のコミュニケーションロボットのPARO（パロ）を砧ホームのペットとして飼育（活用）しています。施設の入口付近に置いていますが、可愛くて癒されるだけでなく、利用者には会いに行くための活動にもつながっています。法人理念の「共に生きる」を介護ロボットにも実現しています。



保坂世田谷区長に説明する板垣副主任



介護ロボットと住まう砧ホーム

モデル施設としての活動

モデル事業は終了いたしました。が、東京都の次世代介護機器（介護ロボット）のモデル施設としての役割を仰せ付かっており、今年度も1月と2月に公開見学会が予定されています。介護ロボット関連で、昨年度は105名の見学者をご案内しておりますが、今年度は11月末現在で、既に219名を数えています。それだけ、介護ロボットに対する関心が高まっているのだと思います。特に、昨年度と違うのは、新聞やテレビ等のマスコミによる取材が増えていることです。また、高齢者福祉施設だけでなく、最近では障害者福祉施設からの見学依頼も増えてきています。介護ロボットを通じて多くの人たちと繋がることのできることを、そして私たちの実践が広く社会貢



海外のテレビ局による取材

献に繋がっていることは、砧ホーム職員としての誇りと遣り甲斐にも繋がっています。本誌ご愛読の皆様にも、まだご見学にお越しでない方がおられましたら、是非一度、砧ホームにお立ち寄りいただけますと有り難く存じます。

経験に勝るものなし

社会福祉法人 友愛十字会
教育委員会 広島 正和

事例・研究発表研修で発表された皆様、お疲れ様でした。日々の業務の傍ら、発表の事前準備が大変だったのではないのでしょうか。

今回、私は教育委員会のメンバーとして携わっており、司会進行を務めました。そういった立場もあり、全員の発表を終始拝見させていただきました。内容としまして、理事長をはじめ、採点をされた方々が述べた通り、甲・乙を付けるのが難しく、熱の入った有意義な時間でした。その場にいる事ができて良かったと思っております。

7組の発表がありました。発表内容は勿論の事、与えられた時間内で起承転結が明確であり、聴

き手側にとっても理解がしやすかったです。発表者側も、その部分については配慮をしていたかと思いますが、時間の配分との兼ね合いもあり、苦勞した部分であったのではないかと勝手ながら想像しています。人に自分たちの考えやメッセージなどを伝えるというのは簡単な様で実に難しいものです。それを職員の前で堂々と自信を持って発表する姿勢は見ていて、素晴らしかったです。

果たして「堂々、自信」といった事はどこからくるのか。それは現場を通じて日々の積み重ねた経験から生み出されたものではないでしょうか。入職したての頃は、右も左も分からなくて当然の事です。コツコツと業務、苦勞を積み重ね、気付くと今まで目に見えなかったものが見えてくる。それらの反復で己自身が研磨され、自分

の形や味というものが出てきて、更に観察力、洞察力が研ぎ澄まされるのではないかと思います。経験が全てといっても過言ではない気がします。

また、業務に対して愛着を持っている事も要因の一つではないでしょうか。愛着をもっているからこそ真摯に取り組み、もつとこうしたい、疑問に感じるなど、改善策を含めて色々と目が行き届き、より良い環境づくりに着手しているのではないだろうかと思えます。

発表の内容が素晴らしかったのも、これらの背景があったからこそです。私自身、普段は法人本部で経理業務に従事しており正直な所、各施設の業務については漠然としか理解しておりません。普段、どのような取り組みをしているのか、課題は何なのか等、日常

で中々聴く事のできない話を聴けて、実りのある時間を過ごせたと実感しています。

今後も私自身、そして皆さんと一緒に経験を積み重ねて力を付けていき、利用者の方々、職員にとつて充実した時間を過ごせていければといった次第です。

次回以降の発表研修において、新たな発表を聴ける事を楽しみにしております。最後に、発表された皆様、改めてお疲れ様でした。



受賞後の記念写真

仕事と家庭の両立のために

～妊娠期の職員との協働～

男女共同参画委員会

男女共同参画委員会は、女性も男性も働きやすい、子育てや介護などと両立できる職場環境を創っていかうと活動しています。

今回は、妊娠中の職員と協働していくための各施設の取り組みや工夫をご紹介します。

「関わる人すべてが快く」

友愛デイサービスセンター

介護職員 佐藤 明子

友愛デイサービスセンターでは、妊娠中の職員に対し、次のような日常業務上の配慮をしています。ご利用者の支援におけるトランスファーや入浴介助、外出活動の同行、トイレでの一人介助など身体的負担の大きな業務は他の職員に割り振り、主に水分や食事の介助、フロアーリーダーやデスクワークを担当することにしています。

妊娠中の勤務は体調に大きく影響され、従来の業務ができないことに心苦しさを感じることもあるので、妊娠初期からの業務調整は、心身ともに安心できるだけでなく、ご利用者やご家族、本人そして一緒に働く職員全員が辛い思いをせずに済むと考えています。

また、妊娠中の職員が、他施設の出産経験のある職員から「妊娠婦健診のために最大4回分職務免除される制度がある」という情報を聞いたそうです。施設を越えて職員同士で支え合う重要性和ともに、改めて規程や制度に関する情報を広く周知する必要性を感じています。



介助ができる座などを中心に

「それぞれができること」

砧デイサービスセンター

主任介護職員 武井 安浩

昨年、砧デイサービスセンターの介護職員が妊娠しました。職員一同祝福していたのですが、本人の体調が安定せず、業務を突如抜けることが増えてきました。すると職員間で何とも言えないストレスが・・・。

これはまずいと、世の中の状況を調べて、対応策を考え本人に提案しました。事務仕事を中心に、職場内受注生産方式で業務にあたってもらったのです。スケジュール管理をして、職場全体で進捗状況を確認できるようにしました。

ストレスも少しずつなくなり、良い形で産休に入ってもらうことができました。

「妊娠・出産を経験した職員から」

砧デイサービスセンター
介護職員 瀧口 蒔

「迷惑をかけてしまう、どうしよう」

体調は日に日に悪くなり、周りに迷惑をかけてしまう。無理をしたら流産してしまうかもしれない。不安の中食欲もあまりなく、あらゆる匂いも受け付けず辛い。

そんな時、書類作成などの事務業務を主に担ったらどうかと提案がありました。座ってできる仕事は妊娠期にとても合っていましたし、体調に合わせて自分でスケジュールを組んで仕事を進めることができるようになりました。自分の存在価値が認められたように感じ、とても仕事が楽しくなりました。

受け入れてくれた職場の皆様、心から感謝。

恵まれた職場だ
なと思いました。



生まれました

施設や職種によって状況は違いますが、職員全員の知恵や工夫を結集して、妊娠しても協力し合って仕事を続けられる職場風土を創っていきましょう！

縁の下の力持ちを目指して

法人本部事務局

主任事務員 佐々木 裕介

友愛十字会の事業所は東京都世田谷区、港区、板橋区、千代田区、町田市にあります。その中で法人本部事務局は世田谷区にあります。

法人本部事務局の組織は総務部、経理部、企画部があり、事務局長以下13人の職員が勤務しています。

総務部は、世田谷区と千代田区の事業所の人事関係の手続き（採用から退職まで）、給与計算、年末調整、規程改正、職員の健康診断などを行っています。また、教育委員会の事務局として、職員研修の企画・運営を行っています。

経理部は世田谷区と千代田区の仕事所の日常の出納業務、予算の作成、月次及び年次決算及び各事業所等に対する指導監査に関する業務を担当しています。また、経理部内に組織されている営繕は建物や設備の維持管理や清掃業務を担当しており、突発的な設備の故障や漏水などにも早急に対応しています。

企画部は法人が取得しているISO9001：2015の認証取得と更新等のための業務を担当しています。



法人本部職員

お気軽にお声掛けください♪

昨年8月1日から人材採用強化のため、総務部にリクルート推進室が創設され、昨年は各事業所の担当者や職員募集パンフレットや説明会などで使用するツールや法人のノベルティグッズについて検討しました。今年重点是に大学や専門学校に訪問し、職員の採用に尽力していきます。

私達は表舞台に立つ場面は少ないですが、各事業所で日夜勤務している職員の縁の下の力持ちを目指して、本部の立場から職員が働きやすい環境を整備することを心がけながら仕事に臨んでいます。

世田谷施設の受付窓口も私達が担当していますので、受付で皆様のご来訪をお待ちしています。

力を合わせて頑張っています

友愛書房

淵上 好一

友愛書房は昭和25年12月1日、厚生省内(現・厚生労働省)に身体障害者福祉法第22条に基づく売店として開設しました。以来、身障者が働ける書籍販売事業所として営業しており、当初は省内の一階に店舗がありました。平成12年に中央合同庁舎第5号館地下1階に店舗を移転しました。現在、従業員3名で運営をしています。

取り扱い書籍につきまして、は、福祉関係をはじめ、行政、法律、医学書、環境に関する専門書ならびに週刊誌、小説などの一般書籍や定期購読も扱っています。販売については館内に勤めている職員等が主となっていますが、インターネットからの問い合わせフォームも設け、そちらを経由しての注文も可能となっています。また、書籍をご購



店内の様子

いただいたお客様にはメリットとして、割引やポイント制度も取り入れています。

今日書房を取り巻く社会情勢などは著しく変化しており、大変厳しい状況であります。それらの動向など、十二分に把握して、それに応じた書籍の陳列や従業員内での意見交換、情報共有、お客様からの声もしっかりと受け止め、ニーズに対応できるように努力をしています。必要書籍など御座いましたら、ぜひお気軽にお問合せ下さい。

【お問い合わせ先】03-3591-4822

工房アミについて

港区立障害保健福祉センター

工房アミ

施設長 神田 市郎

社会福祉法人友愛十字会が港区の指定管理業者として運営している港区立障害保健福祉センター（愛称ヒューマンぷらざ）（以下センター）の1階と3階に生活介護事業所である工房アミがあります。

心身に障害のある人たちに、生活支援や作業場面等への支援を通して自立を促進し、家庭や地域においてより充実した生活を送ることができるよう支援します。

平成10年4月1日開設。平成21年4月直営から指定管理に移行し「社会福祉法人 友愛十字会」が管理運営しています。期間は平成32年3月末日までです。

センターは、港区の浜松町駅近くにあります。地上23階建て。8階までがセンター。その上23階まで区民住宅となっています。

センターには、ほかに次の事業所が入っています。自立訓練（機能訓練）事業所、就労継続支援B型事業所、心身障害児通園事業 児童発達支援事業、相談支援事業 地域活動

支援センター事業、緊急一時保護及びショートステイ（レスパイト保護）事業。

工房アミの利用対象は、18歳以上の知的障害者及び重複障害者で、障害支援区分3以上の方（ただし15歳以上18歳未満の人については、個々の事情により利用することがあります）。

定員は40人ですが、現在、47人の利用者が在籍しています。

職員は介護支援員26人、サービス管理責任者1人、看護師1人、施設長の29人です。

利用日時は、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後3時または4時。

日課や活動内容は以下のとおりです。



【日 課】

- 9:30 送迎バス到着
- 10:00 朝のミーティング
クラス活動
- 11:30 昼食準備 昼食・昼休み
- 13:30 クラス活動
帰りのミーティング
- 15:00 3時降所グループ送迎バス出発
- 16:00 4時降所グループ送迎バス出発

【年間行事】

- 4月 開始式
- 6月 運動会
- 9・11月 宿泊訓練
- 10月 みなと区民まつり
ヒューマンぷらざまつり
- 1月 成人を祝う会

【活動内容】

- 生活支援 基本的な生活リズムづくり
更衣、食事、排泄等生活習慣の習得 歩行等の健康増進活動
グループ別運動 帰宅行動トレーニング(一部利用者)
- 作業支援 牛乳パックのリサイクルによる紙加工品の製作
木工作品の製作 アルミ缶の回収及びプレス 手芸
- その他の活動 音楽療法 造形活動等の芸術活動 調理活動 プール
アロマケア 外出・宿泊訓練等の社会生活体験

善意のかずかず

次の方々から利用者及び施設に対してご奉仕等を賜り、また、善意の金品のご寄贈を頂きましたことに対して、心より御礼申し上げます。
(平成30年7月1日〜平成30年11月30日)

奉仕活動

○世田谷更生館

青山 健児
秋山 一代
石合 幸雄
伊藤 幸子
伊藤 たけ子
大島 公子
金子 伸恵
木村 和江
黒田 真実
小林 健太郎
穴戸 美菜
原岡 美之
樋口 宏子
平岡 佳代
福永 春美
渡邊 砂代里

○友愛ホーム

関澤 勢津子
山川 敏江
末木 江津子
棚網 純子
馬場 武子
早田 由貴子
深井 真理子
毛利 東洋雄
山下 ヤス
山田 たき子
米田 恵子

アンサンブル3355
ガールスカウト
東京都第61団

幼稚園
都立光明学園
天理教北多摩東部支部

モコモコ
学校法人山野学苑

○砧ホーム

朝比奈 瞭
石田 淑子
市毛 昌子
加藤 律代
金子 美代子
岸本 幹子
久保井 郁弥
小原 祐子
小卷 由紀子
小松 政江
齋藤 富美子
佐川 喜代枝
島田 静子

○砧デイサービスセンター

進藤 一俊
高橋 節
竹内 律雄
田島 利雄
土田 ケサヨ
徳永 珠子
丹羽 尚子
濱口 郷子
前田 静枝
森園 昭子
横山 奈津子
葭野 明善
渡辺 澄子

○砧デイサービスセンター

市川 昭子
今井 里織奈
梅津 祥子
梅津 三千代
川口 栄一
鈴木 賢一
寿乃田 雅子
田村 正子
鶴長 容治
中山 あまね
野田 萌々
橋本 聡子
三浦 陽子
向井 忠彦
山下 康代

○砧あんしんすこやかセンター

アイカネ
世田谷区民吹奏楽団
たんぼぼ
福寿会
ブルームーン

○東京聴覚障害者支援センター

青野 美重子
石原 美希
井上 大登
卯塚 江利子
奥村 睦
小野 一美
金井 誠実
木村 亜矢子
グエン・ホアン・サン
佐古 潤
佐古 尚代
ザハロヴ・ユージン
新村 美保
鈴木 智代
鈴木 美代
曾輪 信明
田代 恭子
田中 里子
千葉 ゆきな
寺岡 紀子
名取 勇
道下 恵美子
山口 幸枝
板橋区聴覚障害者協会
板橋区話サークル

○友愛荘

板橋民踊連盟
志村城山町会
成増天神太鼓

○港区立障害保健福祉センター

石川 信子
石原 信行
市川 美代子
円乘 朋子
河端 喜美子
黒木 優花
佐藤 君子
長尾 さな江
松永 誠子
宮坂 貴三
望月 紀子
矢口 里子
山本 美智子
山本 潤矢
渡辺 喜美代
桜美林幼稚園
おわら楽舞会
函師郷土
芸能文化保存会
函師婦人会
グループ・そらまめ
寿々の会
天理教北多摩東部支部
二胡ニコ会
日本ボーイスカウト
八王子寿太鼓
深山会
フラフイオルオル
町田ときわ保育園
まつびるま歌月グループ
山崎友好会

寄付金

木下 伸一
小林 和子
高田 眞子
殿村 晶湖
武田 敦子
田中 里奈
玉置 正子
二木 江津子
野田 明子
原 三智子
宮田 真
山口 博子
米田 ひさの
一富士フードサービス(株)
(有)ノバック
プルデンシャル生命保険(株)
港区民生委員・児童委員

○本部

秋山 隆子
秋山 由美子
浅山 恵子
石井 公子
石井 盛利
遠藤 弘之
大島 康子
貝塚 敬子
川上 忠敬
木村 清美
鈴木 昇
鈴木 清昭
内藤 日出男
長島 武
濱口 和子
牧野 瑞静
松永 利枝
松原 竹夫
山根 夫

〈次頁へ続く〉

〈前頁より〉

- (有)新井電気工業所
- (有)大蔵自動車商会 長島 英行
- 大蔵住宅自治会
- 大蔵東部町会
- 海藤工務店
- (有)カインドサービス 柏・絆の会
- 代表 関原 真理子
- 法人格砧町自治会
- 砧町町会
- 砧まちづくりセンター
- 所長 本田 博昭
- 砧幼稚園
- 園長 白井 潤一
- コプラント(株)
- 代表取締役 西村 勝彦
- 砂井電気管理事務所
- 成城消防団第五分団
- 分団長 宗田 昭光
- 世田谷区IKK福祉協会 篠澤 則和
- 世田谷区障害福祉担当部 部長 松本 公平
- 世田谷区立身体障害者福祉協会 会長 杉田 春義
- 世田谷区立砧工房
- 世田谷区砧総合支所
- 世田谷区社会福祉協議会 会長 上原 繁
- TMC通り商店街
- 日本赤十字奉仕団砧分団
- フジ介護支援センター
- グループホーム花みず木
- ミニデイ砧
- 山野小学校
- 山野小学校PTA
- 悠遊踊ろう会
- リビングゲストア タカハシ
- レイアロハフラスター
- 和響太鼓

○世田谷更生館 藪田 千賀子

○コーポ友愛 藪田 千賀子

○砧ホーム ヒューマンライフケア(株)

○砧デイサービスセンター 石井 洋一

○東京聴覚障害者支援センター 杉岡 初枝

志村城山町会

○友愛荘 笠原 芳子 山崎 芳男

かつとはうすブリッチ 図師町内会

忠生忠霊地区自治会 忠生四丁目町内会

根岸こなや踊り N.O.A 建築

友愛荘家族会 楽踊会

理容ミッキー

○港区立障害保健福祉センター 芝金杉長会 港区心身障害児・者団体連合会

寄付物品

○本部

朝日新聞サービスアンカー ASA大蔵 (有)カインドサービス

さわやか信用金庫 読売センター砧

○友愛ホーム 日本たばこ産業(株)

○砧ホーム 小畑 あや 藤間 英治

○東京聴覚障害者支援センター 浅川 高文

JXTGホールディングス(株)

○友愛荘 笠原 芳子 谷 シズエ様ご家族

木曾町三家寿クラブ(株)コンティ

シマヤマメディカル(株) 東京冷機工業(株) 聖和会

(敬称略)

職員異動

(平成29年12月1日) (平成30年11月30日)

○就任

常務理事 江原 徳至

○採用

友愛ホーム 園 長 酒井 健治

○併任

法人本部事務局 総務部長 酒井 健治

港区立障害保健福祉センター 相談・地域交流部門 統括施設長 田口 美登里

編集後記

新年あけまして おめでとうございます。

平成最後の年明けを皆様はどのようなお迎えでしょうか。ひとつの時代の終わりとは、また新たな時代の始まりでもあります。改元に際し、何か新しいことに挑戦したいと、小生も思索しております。

『今と今という間に今ぞ無く今と今という間に今ぞ過ぎ行く』 改元にあやからずに志を新たにできる強い心を持ちたいものです。

ゆうあい編集委員会 副委員長 砧ホーム 園 長 鈴木 健太

ゆうあい 第四十八号

平成三十一年一月一日

発行 社会福祉法人 友愛十字会 発行人 金 井 博 所在地 東京都世田谷区 砧三丁目九番十一号

電話(03)3416-3164 http://www.yuai.or.jp



表紙写真…東京聴覚障害者支援センター 高橋秀志